



(レジデント) 専修医制度について

国家公務員共済組合連合会 名城病院長 早川 哲夫

医師の新しい卒後臨床研修として平成十六年から二年間の研修プログラムが開始されました。新制度では、医師としての①資質の涵養(要するに、社会人としての常識をそなえ、医師として患者さんや家族、さらには社会に対する思いやり、気遣いができるように変身すること)と、②総合的な診療能力の基本の修得(病人の臓器の障害だけをみるのではなく、人間として社会に復帰できるような診療を心がけること)・③研修に専念できる処遇(アルバイトなしで生活できる月給を病院から出す)の三大目標をめざしました。

名城病院では、八名の研修医が無事二年間の臨床研修を終了しました。一年前に予定した、①社会人として通用する常識と人格、②皆がよくかかる病気に對する基本的診療能力の修得は、十分にできたと思えます。二年間で修得したものを基礎に、さらにそのひろがりや深さを増し、専門性を高める必要があります。このために、名城病院でも二年

間の医師臨床研修終了後に、三〜五年の後期研修、すなわち専修医(レジデント)制度を設けました。これは、専門分野においても、幅広く多くの経験を積む段階と、さらに専門性を高めた知識と技術を修得する段階に分けることができます。消化器内科に例をとれば、循環器、呼吸器、消化器、内分泌代謝、腎臓など内科の多くの分野の診療を経験し、そのあとで、消化器を選んで画像診断や内視鏡治療などさらに専門性の高い診療技術を身につけます。外科系の分野でも同様な考え方で研修を進めます。

専修医の研修後に認定内科医、ついでさらに専門性の高い内科、消化器、循環器などの専門医の認定試験に合格すれば、それぞれの専門医の資格が得られます。

このように、次第に専門性の高い診療知識と技術が修得できます。しかし、医学、医療にはもうこれで完成という所はありません。

医療はもともと不完全な、未解決な部分が多く残っている科学の応

用技術です。たとえ完成した治療があっても、肝心の患者さんは百人百様であり、治療に対する反応も一通りではなく、どんなに一生懸命努力しても悪くなる患者さんがいます。日常診療では、完全な治療法がなくとも、患者さんが苦しんでいると何とか少しでも良い方にと懸命の努力が必要です。

解決方法のわからない問題と出合った時にこれをほかの人達と力を合わせて解決する能力と心がまえを学び、困った人の力になろうとする気持ちを養うことが、常に進歩する時代の医師には大切と思えます。山本五十六元帥の残した言葉「やって見せて、言ってみせて、やらせて見て、ほめてやらねば、人は動かす」の心が専修医を育てる指導医、患者さんと家族、地域の人人々にも大切です。良い医師を持つには、子育てと同じようにまわりの支援、協力、忍耐が欠かせません。日本に一人でも良い医師が増えるために皆さま方と頑張りたいたいと思います。よろしく願っています。

この病診連携システムによる栄養指導は、病気そのものは開業医の先生に診てもらい、栄養指導を名城病院で行うというものです。専門医の指導もあります。

「食事に注意しましょう」と言われたら、開業医の先生に申し出て、気軽に名城病院の門をたたいてください。病診連携室で受け付けています。

管理栄養士 井浪 澄子

病診連携医院との 栄養指導について

名城病院では、病診連携により栄養指導が実施できるようなシステムを作りました。

対象は、当面、糖尿病とし、指導回数は4回としました。糖尿病は、始めはほとんど自覚症状がありませんが、重症になると命にかかわる怖い病気です。早めに治療を始めればこのような進行は防ぐことができます。

一番のキーポイントは「食事と運動」。生活習慣を見直すことです。



マルチスライスCT —狭心症の新しい検査法

循環器科部長
岩間 芳生



最近では、動脈硬化が原因の病気による死亡は、がんよりも多いと言われていています。過食・肥満や運動不足などがもとになっておきる高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病や喫煙が、動脈硬化の原因になります。

今回は、動脈硬化が原因でおきる狭心症について、新しい検査法を中心にお話しいたします。

心臓は一日に約10万回休みなく動いて全身に血液を送っていますが、心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が動脈硬化をおこして狭くなると血液が十分に流れなくなり、心臓の筋肉が酸欠状態になります。この病気が「狭心症」です。冠動脈が閉塞して心臓の筋肉が壊死する場合は「心筋梗塞」で生命に関わる病気です。

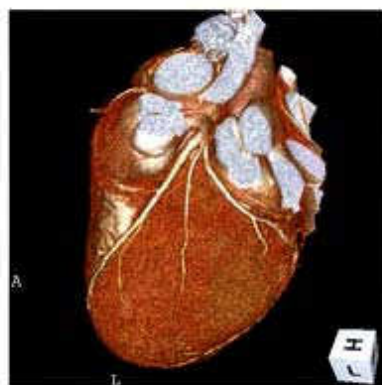
狭心症では、急いで歩いた時や階段を上った時などに、胸がしめつけられるような痛みや圧迫されるような痛み、あるいはのどから

胸にかけて焼けるような痛みがおきます。安静にしている時に痛みがおきることもあります。そういった症状は、普通は10分もすれば徐々におさまりますが、それでも治らない場合は急性心筋梗塞の可能性もあります。すぐに救急車を呼んでください。

狭心症の疑いのある場合は、今まではカテーテルという細い管を手足の動脈から入れて直接冠動脈を調べる冠動脈造影をおこなわないと冠動脈の狭窄はわかりませんが、最近ではCTを使って冠動脈の様子を調べることができます。当院では、昨年の春から64列マルチスライスCTという最新鋭のCTを使用しています。日本全国でも導入されている病院は数少なく、当院ではこの一年間に600人以上の方が検査を受けられており、全国的にみても有数のレベルと思います。CTの機械は普通のものと同じドーナツ型のもの

のですが、非常に高速で撮影することができるため検査はきわめて簡単です。腕の静脈から造影剤を注射して10秒程度息を止めていただくだけです。準備する時間を入れても10分くらいで検査は終了します。これにより冠動脈が狭くなったり詰まったりしていないかがわかります。ただし、不整脈のある方や造影剤のアレルギーがありますので外来でご相談ください。CT検査で狭窄の疑いがある場合は、冠動脈造影をおこないさらに詳しく調べます。

胸の痛みがあり、狭心症がご心配の方は、一度循環器科にご相談ください。



マルチスライスCTによる冠動脈の画像



名城病院事務部長に就任して

事務部長
佐々木 弘美



この3月から次長として、4月からは金澤前事務部長の後任として赴任してまいりました佐々木と申します。

伝統ある名城病院で勤務できることを嬉しく思うと同時に、気の引き締まる思いがします。初心に帰った気持ちで事にあたって行きたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

出身は秋田県の角館という所で、奥羽山脈の麓にあり、冬は雪

深い片田舎で生まれ育ちました。

車で40分位のところに田沢湖があります。趣味はスポーツ全般ですが、高校時代に野球をやっていたこともあり、こちらに異動してくるまでは杉並区のオジサン野球チームに所属し、地元中学生クラブチームのヘッドコーチもやっていました。ゴルフも少々たしなみます。

さて、4月からの診療報酬マイナス改定や、昨年度からの本部助

成金の廃止など、名城病院を取り巻く環境は厳しいものがあります。こうした中、安全な医療の提供はもちろんのこと、患者さんの目線にあわせた医療の提供が、運営上極めて大事なことと考えております。

更に、地域密着型の当院としては、今後とも開業の先生方や地域の医療機関との連携強化により機能補完していくことがますます重要になってくるものと考えております。

まだまだ不慣れで院内・外の分からない部分が多々ありますが、どうぞよろしくご指導願います。

新任医師

平成18年1月から

消化器内科

水谷太郎

みずたに たろう



1月から消化器内科の一員として名城病院でお世話になることになりました水谷太郎です。どうぞよろしくお願いいたします。平成13年福井大学医学部を卒業後、瀬戸市の公立陶生病院に初期研修も含め5年弱勤務し、今回の異動となりました。もともと名古屋市出身で病院の周りも慣れた土地ですが、さすがに10年以上離れているとその変貌ぶりに驚かされています。まだ消化器内科医としても若輩者ですので、これからもご指導ご鞭撻の程お願いいたします。

平成18年4月から

外科医長

根東順子

こんどう なおこ



姓・名とも希少！名古屋大学器官調節外科の人事に従い異動して参りました。職歴は14年目です。主には消化器外科疾患の治療に従事していますが、なるべく幅広く知識を得るよう努めています。またコメディカルの方々と協力して、より良質な医療を日々目指していきたいと思っています。

整形外科医長

宮坂和良

みやさか かずよし



この4月に常滑市民病院から転動してきました。いままでの職場環境とは随分変わりました。勉強することがたくさんありますが、脊椎脊髄外科の専門病院で仕事ができることにとても感謝しています。

よろしくお願いいたします。

呼吸器内科

若原恵子

わかはら けいこ



この4月に名古屋大学呼吸器内科より赴任してまいりました若原と申します。大学では主に、免疫・アレルギーに関して勉強しておりました。卒後9年目になりますが、日々呼吸器病学の面白さと難しさを実感しております。常に前向きな気持ちで、やさしく、強く、冷静に、少しでも患者さんのお役にたてるよう、努力していきたいと思っております。まだまだ未熟な点もあるかとは思いますが、よろしくお願いいたします。

循環器科

中川晴道

なかがわ はるみち



本年4月より名城病院循環器科に赴任いたしました中川と申します。虚血性心疾患から不整脈まで幅広い循環器疾患医療にたずさわっていきたく思っております。よろしくお願いいたします。

整形外科

安藤 圭

あんどう けい



平成11年度、長崎大学卒業。3月まで県西部浜松医療センターに5年間いました。脊椎を学ぶために名城病院にきました。まだまだご迷惑をおかけすることがあると思っております。よろしくお願いいたします。

泌尿器科

金子朋功

かねこ ともよし



この4月より前任の梅本先生に代わり、名古屋市立大学より当院泌尿器科に赴任いたしました。平成9年卒の金子朋功です。担当は男性不妊ですが、一般泌尿器科領域全般にわたって診療を行ってまいりました。より安全な医療をモットーに日々励んでまいりたいと思っております。お役に立てるよう頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

平成18年4月から



岡崎大樹

おかざき ひろき



加藤悦史

かとう えつし



水野里香

みずの りか



淵野都紀子

ふちの ときこ



長谷川万里子

はせがわ まりこ

専修医

長谷川万里子

医療はかけがえない人間の命が対象の仕事ですから、人間味ある対応が大切であると考えております。理解していただきやすい説明、気楽に話し合える雰囲気づくりなどを念頭に置きながら、皆様に信頼される医療を続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

平成18年4月から



岩田享子

いわた きょうこ



太田雄久

おおた たかひさ



小杉美智子

こすぎ みちこ



小塚雅也

こづか まさや



後藤正成

こう まさなり



吉村陽子

よしむら ようこ



小集団活動発表会

2006年3月11日

6階特等 ナース刑事リーダー
牛田有美

エントランスホール

当院でのTQM活動も5年目となり、今年は3月11日エントランスホールにて発表会があり、我が循環器センターはそこで最優秀賞を頂きました。

今年もテーマの選定には頭を悩ませましたが、私たちの病棟の特徴は何だろうと考えた所、通常の採血、点滴、インスリン、心筋梗塞後の定期的な採血など針を使う機会が多く、その中でスタッフの注射針の使い方やごみ箱を見てみると、リキャップされた針がたくさんある事に気が付きました。

そこで“リキャップ廃止で針刺し0を目指す”をテーマに取り組みました。



活動内容はスタッフに意識付けをしようと標語を募集し、ショートカンファレンスのまえに読み上げることにしました。また、針ボックスを小さい物にして持ち運びしやすくしました。

その結果、リキャップ率は減り、針ボックス使用率は上昇が得られ、事故防止に繋がったと思われま

す。今回、最優秀賞を頂いたのは6階スタッフと、先生方、そしてアドバイスして下さった立川先生のお陰だと思っています。

ありがとうございました。

※リキャップ 注射後の針にカバーをしなおすこと



名城病院診療等のご案内

診療科目

内科・循環器科・小児科(小児循環器)・外科
整形外科・脳神経外科・心血管外科・皮膚科・泌尿器科
産婦人科・眼科・歯科口腔外科・神経内科

※神経内科及び午後の診療等、詳しくは 医事課 (052)201-5311
内線2132 にお問い合わせ下さい。URL <http://www.kkr.or.jp/meijo>

※医療福祉に関するお問い合わせは、医療福祉相談室 内線5105まで

診察受付時間

新患受付 午前8:30~11:30まで

再来受付 午前8:00~11:30まで

面会時間

平日 午後0:30~8:00まで

土・日・祝

但し、①小児科病棟は、午後7:00まで

②ベビーの面会は、
午後0:30~1:30まで
午後3:30~4:30まで
午後6:30~7:30まで

の3回です。

③ICU室への面会は30分以内に限定させていただきます。

診療案内

休診日 土曜日・日曜日・祝日

年末年始(12月29日~1月3日)・創立記念日(11月6日)

所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1

TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318

編集後記



新人を迎える4月、通勤電車内も新社会人で賑やかです。当院も研修医6名、看護師39名、助産師2名、介護助手3名を迎えることができ、毎朝更衣室は混雑しています。

オリエンテーションを終えて、各現場にてがんばっていることでしょう。真のエキスパートとは、自分の仕事に意味付けをし、その実践を通して臨床の質を向上させることです。その道に秀でた人の実践は、それ自体が効果的な教育となり、仕事の質向上につながる可能性を秘めています。今後それぞれの現場でどのように育てていくか期待しています。新人が仕事を通じて成長する姿を見ては、私も負けじとがんばります。(S.F)